

令和7年度

与謝野町定期監査報告書

令和8年3月

与謝野町監査委員

令和7年度定期監査報告書

第1 監査の概要

1 監査の種類 定期監査

2 監査の主眼及び実施方法

財務に関する事務及びその他の事務が法令等に準拠し、適正かつ効率的に執行されているかどうかを主眼として、所管課から提示及び提出された関係書類の監査と一部の所管課職員から説明及び聴取を行った。

3 監査の実施日時

- ・資料確認：令和8年1月19日（月）～3月3日（火）
- ・所管課説明聴取：（産業観光課）令和8年1月28日（水）
（企画財政課）令和8年2月16日（月）

第2 監査対象の概要と監査結果

1 監査の対象及び範囲

令和7年4月1日から令和7年12月31日までににおける財務に関する事務の執行及びその他の事務の執行を主体に監査を実施した。

（1）企画財政課に関する業務について

- ・ふるさと納税事業
- ・移住定住支援事業
- ・地域内公共交通確保維持事業
- ・与謝野駅舎管理運営事業

（2）産業観光課に関する業務について

- ・産業振興事業のうち産業振興支援事業
- ・特産品普及促進事業
- ・織物技能訓練センター管理運営事業
- ・観光地域づくり支援事業

（3）総務課に関する業務について

- ・空家等対策事業のうち老朽空家等除却事業費補助制度
 - ・災害・危機管理対応事業
- (4) 福祉課に関する業務について
- ・敬老事業のうち長寿祝事業
- (5) 福祉課・保健課に関する業務について
- ・がん患者生活支援事業
- (6) 子育て応援課に関する業務について
- ・児童発達支援事業
- (7) 農林環境課に関する業務について
- ・環境保全型農業総合推進事業のうち環境保全型農業推進事業
- (8) 建設課に関する業務について
- ・土木総務費一般経費のうち景観審議会運営事業
- (9) 社会教育課 所管事業
- ・高校魅力化推進事業
 - ・古墳公園管理運営事業

2 監査の結果

監査の結果は、概ね良好であると認められたが、次の事項については、特に取組の強化が必要である。

(1) 企画財政課に関する業務について

- ・ふるさと納税事業

魅力ある返礼品の登録数を増やす取組や、ふるさと納税サイトのSEO対策など地道な取組の結果として、目標寄附金額を達成したことは大いに評価できる。一方で、企業版ふるさと納税については伸び悩んでいる状況であった。引き続きの努力を期待する。

- ・移住定住支援事業

空家バンク登録件数および移住や空家に関する相談件数は増えている。また、移住・定住サイトの新規開設や、移住定住パンフレットを作製したことについて、大変評価できる。一方で、移住促進特別区域

に手を挙げることをためらう地域がある状況であった。特別区域指定によって活用できる事業メリット等の周知が必要である。まちの魅力についての発信力を高め、移住定住につなげる方策について、引き続き研究されたい。

- ・地域内公共交通確保維持事業

リピーター率は高いが、利用者数が伸び悩んでいることから、町民に対して、出発地から目的地までの経路や乗り継ぎがどのようになるのかなど、個々の要望に応じた具体的な利用方法の周知による利用促進と広報強化が望まれる。さらに利用者数を増やすため、利便性向上の方策を引き続き研究されたい。

- ・与謝野駅舎管理運営事業

現在、与謝野駅の管理運営は町の会計年度任用職員によって行われているが、今後の管理体制について研究されたい。与謝野駅整備については、ワークショップで得た町民の意見を取り入れ、利便性が向上する設計に取り組まれている。与謝野町のひとつの拠点であるため、まちづくりの一環として着実に執行されることを期待する。高齢者片道上限 200 円レール事業について、積極的に広報に努められたい。

(2) 産業観光課に関する業務について

- ・産業振興事業のうち産業振興支援事業

計画に沿って進捗している。今年度新たに開設した販路拡大等ビジネス相談窓口では、得られた相談者カルテをもとに、その後の相談者フォローを実施することが重要である。また、クラウドファンディングについて、応募者が出るよう、情報発信の在り方をさらに研究されたい。

- ・特産品普及促進事業

特に指摘事項はない。引き続き努力されたい。

- ・織物技能訓練センター管理運営事業

織物技術を後世に継承するための講座テキストの作成や、デザイン系大学生を対象とした講座を行う取組を進め、織物人材育成講座の受講者数や関係人口の増加につなげられたい。

- ・観光地域づくり支援事業

与謝野町の地域資源（見る・食べる・体験する）をつなぎあわせた魅力的な観光コンテンツ（ツアーや体験）づくりにさらに努められたい。

また、日本遺産である「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」について、積極的にPRする必要がある。

(3) 総務課に関する業務について

- ・空家等対策事業のうち老朽空家等除却事業費補助制度

計画に沿ってできている。ただし、空家調査を実施し、現状把握に努めること。その結果をもって、空家バンクへの登録が可能か、廃屋と見なすかの仕分けを行い、管理を徹底すること。

- ・災害・危機管理対応事業

概ねできているが、地域防災計画を早期に更新・見直しを行うことが必要である。

(4) 福祉課に関する業務について

- ・敬老事業のうち長寿祝事業

民生児童委員協議会の協力により、民生児童委員の地域活動の一環として祝品を配布したことは、対象者の実情把握にもつながる取組であり、非常に評価できる。

- ・敬老事業のうち敬老会事業

各地区主催による敬老会への補助事業について、町内で実施のばらつきが生じている。先行して実施している他地区事例を紹介するなど、できるだけ速やかに町内全地区で実施されることが望ましい。

(5) 福祉課・保健課に関する業務について

- ・がん患者生活支援事業

良い支援事業であり、今後も情報発信に努められたい。

(6) 子育て応援課に関する業務について

- ・児童発達支援事業

よくできている。引き続きの努力を期待したい。

(7) 農林環境課に関する業務について

- ・環境保全型農業総合推進事業のうち環境保全型農業推進事業

ホームページや SNS を活用した環境保全型農業推進のプロモーションについては、当初計画のアカウント開設まではできているが、投稿までに至っていない。今後課内で投稿について研究しながら少しずつ前進していく状況であった。

また、スマート農業技術活用の検証では、システムは良いものであるが、連携する機械の導入コスト等課題もあり、町として全面推進することが難しい状況である。

食育推進計画については計画通り策定できている。

新原材料を加えた豆っこ肥料の改良については、収量の増加や散布量の減少が見込まれる半面、肥料価格への影響等が課題であり、今後導入にあたり状況を見極めながら引き続き検討されたい。

(8) 建設課に関する業務について

- ・土木総務費一般経費のうち景観審議会運営事業

景観区域拡大の検討や既存の景観計画等の見直し等について、まちづくりにおいて重要なことであり、完成の目途を明確にして推進すること。

(9) 社会教育課 所管事業

- ・高校魅力化推進事業

本事業については長年にわたり実施しており、一旦立ち止まって現状の評価をし、次へのステップをどう図っていくかを十分協議する必要がある。

- ・古墳公園管理運営事業

新たに選定された指定管理者との連携をより深めて、来場者の増加に結びつけ、与謝野町の魅力発信に努められたい。